



石川県リハビリテーションセンターニュース

目次

所長挨拶	1
地域活動支援報告	2
各広域支援センターの福祉用具・住宅改修相談実績報告	2
平成15年度研修事業実施計画	3
バリアフリー推進工房の活動	5
地域リハビリテーション連携モデル事業について	6
冊子の紹介	6
ホームページリニューアルのお知らせ	6

所長挨拶

今年度の活動について

所長 島 巖

昨年は国の施策である地域リハビリテーション支援体制整備推進事業の一環として、石川県は地域リハビリテーション推進検討会議を設置し、そこで、「石川県の地域リハビリテーション連携指針」が策定されました。当センターが県支援センターに、4保健福祉センターが広域リハ支援センターに指定され、市町村の地域リハに関する支援体制が明確に示されました。

今年度はこの県リハビリテーション支援センターとしての活動を優先に考えていきたいと思っております。その内容は下記のとおりです。

- 1) 広域支援センターを介した市町村の地域リハに関する技術支援を従来以上に積極的に行います。また、医療機関からのリハに関する専門相談、支援を行います。
- 2) 地域リハ関係者の研修を行い、地域リハ・リハ医療の技術向上を図ります。
- 3) 市町村の窓口で、地域リハ相談を担当する地域リハビリテーション調整者を養成します。県民が身近な市町村で生活動作の仕方や、福祉用具の活用方法などの相談ができ、自立支援（指導）を行うのが、調整者の役目です。
- 4) 地域リハビリテーションに関する情報収集、提供を行ないます。当センターのホームページでも地域リハサービス提供機関等の情報提供を行っています。

今年度は保健・医療・福祉の連携のあり方を探るため、医療機関・市町村・福祉施設間で生活動作の仕方や福祉用具の活用方法などの指導が一貫して受けられるような連絡等の連携推進を図り、退院後も在宅にて一貫したリハが受けられ、寝たきりや、介護状態の悪化予防を目指した地域リハビリテーション連携モデル事業を行います。このモデル事業から得られた問題を検討・検証し、連携を確立していきたいと思っております。

また、済生会金沢病院に委託しているリハビリテーション医療では、昨年11月より病院に回復期リハビリテーション病棟が開設され、十分なリハビリテーションが提供されるよう努めています。

皆様の御理解と御指導により地域リハビリテーションが根付き、成長させていただく事を願っております。

地域活動支援報告

昨年度一年間で行った、地域活動支援の主な内容について報告します。

目 的：	障害を持った方や高齢者が生き生きと住み慣れた地域で生活出来るように医療や保健、福祉及び生活に関わる人々の組織・機関がリハビリテーションの立場から行っている活動に対して技術的支援・協力をを行う。
支援方法：	保健福祉センター、医療機関、教育関係機関、職業関係機関、更生相談所等からリハビリテーションに関わる相談依頼を受けて、保健師・作業療法士・理学療法士・ケースワーカー等がチームを組んで、支援に出ている。
相談支援内 容：	① 事業支援では、事業企画・立案・実施・評価・研修会の講師等の支援等を行っている ② 個別のケースでは、日常生活動作の評価や指導、社会参加への支援、福祉用具の適合、ケース会議への参加等を行っている。
結 果：	依頼件数（平成14年度） ① 保健福祉センターの依頼：事業支援は187件、個別ケースは、88件 ② 病院、教育関係、社会福祉施設、職業関係機関等の依頼：410件 支援内容別 ① 事業支援は、技術支援や事業企画等の支援依頼が多い。 ② 個別ケースの支援は、コミュニケーション機器・車いす等福祉用具の選定やリハビリテーションの技術支援や能力評価が多い。
本年度の特徴：	就労や教育に関する分野の相談（112件）が増え、その内容も日常生活動作や生活環境調整等生活全体のリハビリテーション評価や技術支援の依頼に増加が見られる。
事例紹介	<p>【依頼先】筋ジストロフィー病棟 【依頼内容】リフトを使用しての移乗方法 【支援内容】・リフトの知識と技術の習得の研修会開催 ・現地での実習 ・移乗方法の検討・助言</p> <p>【依頼先】市町村 【依頼内容】外出拒否のALS患者の車いすの適合評価と操作方法及び外出方法の支援 【支援内容】・身体能力評価 ・車いすの適合 ・車いすの操作方法等の指導 ・外出の目的設定と方法の提案 ・外出に関わる関係者の調整</p> <p>【依頼先】養護学校 【依頼内容】「自立活動支援事業」への支援 運動機能面で問題のある6名の児童 【支援内容】・運動能力の評価 ・ケース検討会参加 ・学校生活の活動内容や指導方針の検討・助言</p>

各広域支援センターの福祉用具・住宅改修相談実績報告

地域リハビリテーション支援体制整備事業の1つである、各広域支援センターの平成14年度の福祉用具・住宅改修の相談実績は下記の表のとおりです。

相談種別	相談者数		相談依頼機関別実件数						
	延人数	実人数	本人・家族	市町村	在宅介護支援センター	介護支援専門員	介護福祉・保健施設	医療機関	その他
南加賀	286	71	11	13	5	9	0	26	7
石川中央	56	7	7	4	2	1	0	2	0
能登中部	68	58	2	26	4	2	12	4	18
能登北部	71	41	1	19	9	1	2	8	1
合 計	481	177	21	62	20	13	14	40	26

平成15年度研修事業実施計画

今年度から、地域リハビリテーション支援体制整備事業がスタートしました。研修事業も、よりパワーアップし、「連携システムを構築していくための研修」と「関係職種がより専門技術を磨くための研修」の2本を柱に実施していく予定ですので、是非ご参加ください。

※9月頃、対象者の所属機関・施設へご案内いたしますので、申し込みは案内をご覧ください。

※その他詳細については、当センターまでお問い合わせください。

1 連携システムを構築していくための研修

(1) 地域リハビリテーション研修会

リハビリテーション関係機関の連携を推進するための研修会です。今年度は医療機関と市町村の連携推進をテーマとして取り組みます。

	日 時	内 容	対 象 者
第1回	11月6日(木) 10:30~12:00	「医療機関から求められている行政サービス」 講師：瀧澤 泰樹（やわたメディカルセンター神経内科医長）	市町村関係職員、医療機関の管理者及び相談窓口担当者等
第2回	11月6日(木) 14:00~17:00	「石川県における医療リハビリテーション課題～資源調査・診療報酬分析から～」 講師：当センター職員 「医療機関と市町村の連携について」 講師：中川 冬子（根上町在宅介護支援センター所長）	

(2) 地域リハビリテーション調整者養成研修会

今年度から市町村に設置されている地域リハビリテーション相談窓口の職員養成のための研修会です。

	日 時	内 容	対 象 者
1日目	6月16日(月) 9:30~17:00	「石川県地域リハビリテーション連携指針について」 講師：島 巖（当センター所長） 「地域リハビリテーションと支援体制の必要性」 講師：柳 尚夫（大阪府茨木保健所長） 「地域リハビリテーション調整者の役割」 講師：吉永 智子（高知市健康づくり課主幹）	市町村地域リハビリテーション相談窓口職員等
2日目	6月17日(火) 9:00~17:00	「疾患の理解とリハビリテーション支援方法」(呼吸不全・心不全) 講師：河崎 寛孝（金沢医科大学病院リハビリテーション科助手）	
		「疾患の理解とリハビリテーション支援方法」(整形外科) 講師：八幡徹太郎（金沢大学医学部附属病院リハビリテーション部助手）	
3日目	7月4日(金) 10:00~17:00	「疾患の理解とリハビリテーション支援方法」(難病) 講師：瀧澤 泰樹（やわたメディカルセンター神経内科医長）	
		「疾患の理解とリハビリテーション支援方法」(痴呆) 講師：駒井 清暢（金沢大学医学部附属病院神経内科助教授）	
4日目	3月10日(水)	「疾患の理解とリハビリテーション支援方法」(脳血管疾患) 講師：川北慎一郎（患寿総合病院リハビリテーション科長） 「ケースマネジメント」 講師：野中 猛（日本福祉大学社会福祉学部教授）	
5日目	3月11日(木)	「相談援助技術の実際」 講師：國光登志子（立正大学社会福祉学部助教授） 「事例検討」 講師・助言：野中 猛（日本福祉大学社会福祉学部教授） 「社会資源について」 講師：國光登志子（立正大学社会福祉学部助教授）	

2 関係職種に対する研修

(1) テーマ別研修

① 気道感染予防研修会

高齢者の状態悪化の原因となる肺炎について取り上げ、その予防に対する考え方をシリーズで学びます。

	日 時	内 容	対 象 者
第1回	10月21日(火) 14:00~16:30	「石川県の取り組み(誤嚥性肺炎予防チェックリスト)」 講師:石川県健康福祉部長寿社会課職員	市町村関係 職員及び老 人保健福祉 施設・老人 介護事業所 職員等
第2回	11月4日(火) 14:00~16:00	「老化と肺炎のメカニズム」講師:河崎 寛孝(金沢医科大学院リハビリテーション科助手) 「呼吸機能の維持のために」 講師:伊藤 直榮(日本工学院専門学校医療学部長)	
第3回	11月20日(木) 14:00~16:30	「口腔ケアの基本」講師:綿谷 修一(綿谷歯科医院長) 「口腔ケアの実践を通じて」講師:足立三枝子(府中市民医療センター)	
第4回	12月1日(月) 14:00~16:30	「肺炎のリスク管理とケア計画」 講師:田中 靖代(ナーシングホーム気の里施設長)	

② トランスファー研修会

日頃の体位交換や移乗に関する技術の基本を実技を交えて学びます。

	日 時	内 容	対 象 者
第1回	9月11日(木) 9:30~17:00	「トランスファーにおける身体の使い方」講師:当センター理学療法士 「トランスファーの実際」講師:当センター作業療法士	看護師、 介護職員等

(2) 専門職研修

	日 時	内 容	対 象 者
第1回	9月20日(土) 14:00~17:00	「スポーツでの障害予防におけるトレーニング方法」 講師:花岡美智子(石川県立看護大学教授)	リハビリテ ーションに 従事してい る専門職
第2回	10月18日(土) 14:00~17:00	「回復期リハビリテーション病棟の現状とリハビリテーションの進め方」 講師:黒沢 崇四(NTT東日本伊豆病院診療センター長)	
第3回	12月13日(土) 14:00~17:00	「高次脳機能障害に対するアプローチ方法」 講師:二木 淑子(金沢大学医学部保健学科助教授)	
第4回	1月31日(土) 14:00~17:00	「失語症に対するアプローチ方法」 講師:遠藤 尚志(板橋ナーシングホーム言語聴覚士)	

(3) 処遇技術研修

	日 時	内 容	対 象 者
1日目	10月17日(金) 10:00~16:00	「特養におけるリハビリテーションの考え方」講師:島 巖(当センター所長) 「機能訓練指導員の役割について」講師:当センター作業療法士 「高齢者援助技術」講師:当センター相談員 「高齢者におけるリスク管理」講師:平松 知子(金沢大学医学部保健学科講師)	介護老人福 祉施設に勤 務する機能 訓練指導員
2日目	10月21日(火) 9:00~16:00	「痴呆老人の評価と訓練」講師:清光百合子(八田ホーム作業療法士) 「高齢者と作業活動」講師:当センター作業療法士 「老化と肺炎のメカニズム」講師:河崎 寛孝(金沢医科大学院リハビリテーション科助手) 「排泄ケアの考え方」講師:榊原 千秋(金城大学社会福祉学部助手)	
3日目	11月14日(金) 9:30~16:30	「車いす姿勢についての理解」講師:当センター理学療法士 「車いすとその適合方法」講師:当センター作業療法士 「レクリエーションを取り入れた訓練方法」講師:岡田 千砂(桜ヶ丘病院 作業療法士)	
4日目	12月1日(月) 10:30~16:30	「身体障害者における基本動作の見方」講師:当センター理学療法士 「肺炎のリスク評価とケア計画」講師:田中 靖代(ナーシングホーム気の里施設長)	

(4) 福祉用具に関する研修

テーマを決め、福祉用具の活用について、基本的な考え方や留意点について普及します。今年度は「ベッド周り」等について計画しています。

バリアフリー推進工房の活動

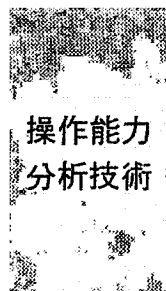
新石川県庁舎のユニバーサルデザイン -ビデオ・オン・デマンド (VOD) システムの開発-

新石川県庁舎は、誰もが安心して利用できる「人にやさしい県庁舎」を目指しています。

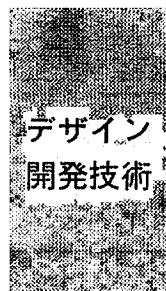
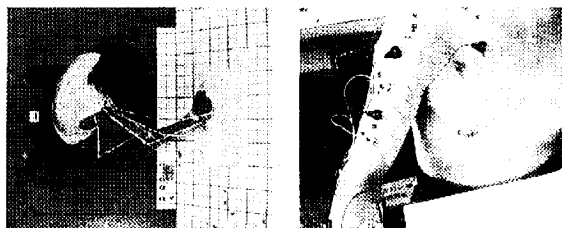
ここに紹介するビデオ・オン・デマンドシステム（県政情報をビデオやクイズで提供できる情報端末装置）はバリアフリー推進工房の技術指導によって開発されたもので、高齢者や障害のある方にも使いやすいユニバーサルデザインを追求しています。

実際の調査研究では視覚に障害のある方、肢体に障害のある方、約50名の方々に何度も協力いただき下記のような取り組みを通じて完成したものです。今回の取り組みの成果を、今後の情報端末機のユニバーサルデザイン開発に生かしていきます。

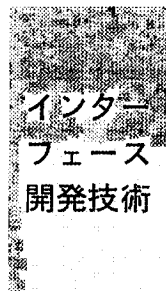
■使いやすい条件の設定・設計・評価 高齢者・障害者（児）の能力把握、設計、試作、評価



■動作解析・筋電計測による設計条件の抽出



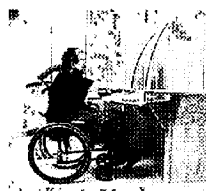
■上肢障害・車いす対応の操作部・筐体設計



■上肢障害・視覚障害対応のタッチパネル開発



歩行者



車いす利用者



電動車いす利用者



視覚障害・上肢障害者



■開 発 車いす、上肢障害、視覚障害にも対応したタッチパネル式VODシステムを配備



▲操作パネル



▲県庁舎1階



▲県庁舎19階

地域リハビリテーション連携モデル事業について

高齢者や障害のある住民が、急性期や回復期のリハビリテーションを終え、維持期を自宅や福祉施設で生活でき、しかも寝たきりや要介護状態にならないように生活するために、医療機関・市町村・福祉施設間で、生活動作の仕方や福祉用具の活用方法などの指導が一貫して受けられるような連絡が図られ、身近な地域で適切な相談・支援が受けられる体制を整備するモデル事業を、今年度実施することになりました。

モデル事業は、野々市町と石川中央保健福祉センターとともに連携し、実施していきます。経過及び結果については、またセンターニュースで報告していきたいと思います。

冊子の紹介

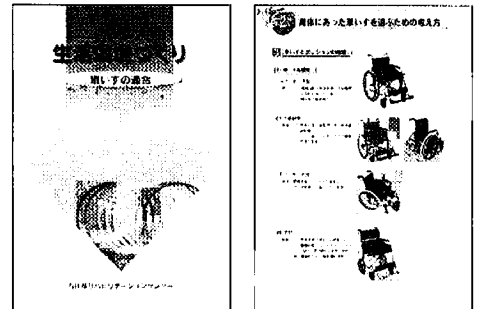
生活環境づくり ～車いすの適合～

施設の介護者の方を対象にして、車いすの適合の基本的な考え方や適合の仕方、車いすやクッションの紹介が写真や図で説明されています。

内 容

- ① 施設（介護老人施設・老人保健施設）における車いすの適合の現状
- ② 身体にあった車いすを選ぶための考え方
- ③ 車いすの選定と適合
- ④ 福祉用具に関する相談体制
- ⑤ 車いすの適合の手順
- ⑥ 車いすの適合事例

内容について興味のある方は、リハセンターまでお問い合わせ下さい。



ホームページリニューアルのお知らせ

今年の4月から、リハビリテーションセンターのホームページをリニューアルしました。リハセンターがどんな事に取り組んでいるのかが、よくわかるような内容になっていると思います。興味のある方はぜひ一度ご覧になって下さい。

また、ホームページの内容についてやその他いろんな相談などについては、もちろん電話やFAXでも結構ですが、メールアドレスもありますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

ホームページアドレス・メールアドレスともに変更していますので、下記のアドレスにアクセスして下さい。

ホームページアドレス

<http://www.pref.ishikawa.jp/kousei/rihabiri>

メールアドレス

iprc@pref.ishikawa.jp



編集・発行 石川県リハビリテーションセンター
〒920-0353 金沢市赤上町ニ13-1
TEL (076) 266-2866 FAX (076) 266-2864
E-mail iprc@pref.ishikawa.jp
ホームページは「石川県」版に開設
<http://www.pref.ishikawa.jp/kousei/rihabiri>